

託兒所に於ける人形芝居の採り入れ

に就いて

— 第一同人形芝居講習會のこと —

西窓學園 牧 賢 一

であります、之は素人の場合にはより多く講演

□ 「お話」に於ては子供達の視覚が重要視されま
すことは今更申すまでもなく、よき話し手は眞に

式に流れ勝ちであつて、廣く子供の世界に採り入
れられるまでには至らなかつたやうであります。

美しい自然の動作を以つて子供達を陶醉にまでひ
き入れます。従つてよき話し手たらうとする人達
が其の動作を過分にまで研究され、時に自然に生
まるべき以上のジェスチュアを用ゐ、ために奇矯な
話術の邪道に陥るものも少くないと思ひます。特
に、幼兒への「お話」に於いて單獨なお話の困難を
感じた先輩達は繪話等を試みてよい結果を得たの

斯く觀ますときに、近來倉橋先生方を中心提
唱されて居りますところの人形芝居は、突然採り
上げられて忽ち廣く傳播されて行くであらう程に
子供達の生活にとつて適切なものではないでせう
か。平穩と沈滞とのうちに續いて來た「お話」の世
界に何か嵐の待ち望まれる時、之は色々の意味に
於いて幼兒教育に携はるものゝ深き關心に値ひす

る「立體」の出現であると思ひます。殊に、陋巷の
幼兒を其の對象とし長き保育時間を持つ託兒所に
於いては、此の人形芝居こそ其の教育手段のうち
に活用さるべき清新なる分野であると思ひます。

而かも、其の人形が私共の創作力の運用によつ
て極めて簡単に自由に製作されますことは一層其
の應用を容易ならしめるのでありまして、此の點
從來、私共は人形芝居なるものゝ採り入れに對し
て多分に「喰はず嫌ひ」の傾向があつたのではない
かと思ひます。云々……」

之は去る十一月二十五、二十六、二十七の三日
間夜分大塚市民館の社交室に於いて開かれた第一
回人形芝居講習會について主催者西窓學園託兒部
が出した案内状の大要であるが、右によつても知
られるやうに此の講習會は特に託兒所の保母さん
方を目的として催されたところに一つの特徴と意
味があつたと思ふのである。

□

人形芝居其のもの、或は幼稚園に於ける人形芝
居の意義、と言つたやうなことに於いては今更茲
にこそ改めて述べるまでもなく既に充分論じ盡さ
れてゐるし、又倉橋先生始めお茶の水幼稚園の方
々の御努力によつて既に多くの幼稚園に於いて實
際に採り入れられてゐるが、不幸にして託兒所に
於いては未だ之を採り入れたところのあることを
聞いてゐない。

同じ幼兒を取扱ふ所ではあるが、託兒所と幼稚
園とは様々の點に於いて深い違ひを持つてゐる。
然るに之まで託兒所が採り來つたところの保育の
方法を見ると、其處には幼稚園のそれと殆ど何等
の差異をも見出す事が出来なかつたやうである。
託兒所の保育案は幼稚園のそれを單に模倣したに
過ぎないと見られるものが多いのであつて、未だ
託兒所独自のものゝ考案を見てゐないと言つても

決して過言ではないであらう。之は勿論、保姆の養成が兩者全く其の道を等しくしてゐる今日眞に己むを得ないことではあるが、又託兒所側に於いても一苦勞あつて然るべきところではあるまいか。

且早くより夕遅くまで、母親の働く間長い時間を幼兒達の保育に當る託兒所は、眞實の意味に於ける家庭の延長、或は家庭其のものであつて、學校では決してない。従つて其の保姆さんはまた先生ではなく言葉通り「お姉さん」であり「お母さん」である。斯る場所に於ける幼兒の保育が獨自の方法と色彩とを持たなければならぬことは又極めて自然であらう。然かも此の點に於いて考へ直し作り直さなければならぬ澤山の問題が我々の前に置かれてゐるのである。

□

託兒所に於ける幼兒の時間は其の生活の殆ど大部分を占めてゐるのであるから、其處での子供達

の生活は極めて自然のまゝのものでなければならぬ上に、然かも其の極めて長い時間に於いて適當なる變化を必要とすると言ふ點に、託兒所の保育の難しいところがあると言へるであらう。

此の意味に於いて、子供達の魂を奪ひ去る程の魅力をもつ人形芝居—ギニョールの採り入れは、たしかに託兒所に於いて速かに考へられなければならなかつた問題であらねばならぬ。其の幼兒保育に於ける重要な意味を述べるとは倉橋先生の領分であるが、然し、先生も云はれるやうに、子供達の想ひのまゝに動いてくれる人形芝居が、子供達にとつて完全に面白い、と言ふこと、そして取材の變化、然かも一つの脚本のせりふの忠實なる反復こそ興味の深められると言ふこと、是等の點にこそ、此の人形芝居が幼稚園に於いてよりも寧ろ託兒所に於いて採り入れらるべき可能性が見出される。

街の人形師「紙人形」の飴屋さんの舞臺を取り圍んで時間を忘れる子供達は託兒所に集ふ子供達である。此の素野で自然な子供達に取り圍まれて、託兒所の保母さん達が人形師となることは、又子供達にも保母さん達にも嬉しい光景ではないか。

□

斯のやうな意味で、私達は此の講習會を企て、そして託兒所にだけ案内を出すことにした。一日勞働に等しい子供達のお守りに時間のない託兒所の方々を考へて此の講習會が人形の製作の指導に主力を注いだことも認められていゝ特徴の一つであつたらう。六〇名の定員は初めの懸念を裏切つて七〇名まで増席する盛況であつた。半數が託兒所の保母さん、残りの半數は新聞の記事を見て來られた幼稚園の保母さんと小學校の先生とそれから童話家の方々。プログラムは第一日が倉橋先生の「幼兒保育と人形芝居に就いて」とお茶の水幼稚園の方々―及川、菊池、村上、小島の諸先生の人

形芝居實演「舌切り雀」と「猿蟹合戦」、第二日は及川先生の人形製作指導、第三日は第二日の續きと菊池先生の實演指導があつて、時間の足りない心惜しい氣持で三日の講習を終へたが、男の方も交つた出席者諸君の熱心な人形製作の様子は何よりも愉快な氣持のよい光景であつた。

講習會の計畫、準備から會を了へるまでの講師先生方の御厚意に溢れた御盡力は主催者としても受講者としても感謝に現はす言葉もない位で、會をしつくりと包んだ温い空氣が他の講習會では見られない嬉しいものであつた。此の企てが、たゞ一時の物珍らしい催として喜ばれたっけでなく、今後多くの託兒所に於ける子供達の悦びとして成長してくれろことを心から望んでゐる。

此の簡單な報告記録の終りに、此の講習會を記念して講師の先生方から主催者西窓學園託兒所の幼な兒達に美事な人形芝居の舞臺がプレゼントされたことを附記して感謝の印しとす度い。

(十二月二十九日)